



「歩く県道・束松峠（越後街道）」

地域づくりニュース H28 Vol.2

会津若松建設事務所管内の交通不能区間となっている旧街道（越後街道）を利活用し、地域の活性化に繋げることを目的として、街道修繕の道普請を行いました。今年度の道普請は、洞門前広場と峠の茶屋に向かう道の補修作業を中心に実施しました。洞門前広場を魅力ある休憩スペースとし、峠道の景観を楽しみながら安全に歩ける道にするために、参加者全員が協力して作業を行いました。

◆道普請の実施概要◆

日時 平成28年10月8日（土）・9日（日）

参加者 束松峠を護る会、高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員

田賀意匠事務所、会津坂下町役場、福島県会津若松建設事務所 2日間の延べ人数 73名

道普請1日目は、洞門前広場の整備を行いました。土塁を昨年度施工した箇所から延伸し、洞門入口までの道のラインを分かり易くするとともに、道の両側に土側溝を掘削して排水効果を高めました。また、丸太を土側溝に沿うように設置して洞門へ誘導する景観を形成し、洞門手前の急斜面に階段を作ることで、登り降りを容易にしました。さらに、洞門の中に入らないよう注意を促すために、洞門の入口に丸太を打設して境を作りました。施工に使用した丸太や板材は、腐食を防止するために、施工現場でガスバーナーを使用して焼き加工をし、薬品に頼らない環境に配慮した施工を行いました。

土側溝の掘削



洞門入口から広場手前の既設の横断側溝まで、土側溝を掘削しました。

土塁の形成作業



大きくて重い土のう袋を運搬し、安定するように積み上げるのは重労働でした。

洞門への誘導丸太杭打設



洞門までの線形がきれいになるように、丸太を等間隔に高さも揃えて設置しました。

施工後の様子（洞門前広場）



洞門をアピールし、訪れた人がゆっくりとくつろげる広場が完成しました。

2日目は、既設の粗朶柵工の補修と沢止工周辺の景観改善、峠の茶屋に向かう道で岩盤が露頭し降雨時に滑り易い箇所に、階段状の山留落差工を施工して安全に歩けるようにしました。山留落差工は、階段の両側が浸食されるのを防ぐために、丸太を千鳥状に設置して表流水の流速を軽減するとともに、鉄筋杭で固定して安定させました。

傾いた既設粗朶柵の補修



傾いた柵の内側に新たに杭を打設し、杭と杭の間に粗朶を入れて安定させました。

沢止工周辺の景観改善



浸食防止のために設置していた黒いビニール製の土のう袋を撤去し、石積を施工しました。

山留め落差工を施工



昨年度と同一の施工方法なので、作業手順を熟知しており、効率良く作業が進みました。

施工後の様子（山留落差工）



滑り止めの効果が増し、安心して歩ける道になりました。ウォーキング大会の参加者にも好評です。

参加者の皆様にご協力をいただき、予定していた2日間の工程を全て終了したことで、平成23年度より実施してきた束松峠における要対策箇所の整備は、今年度で一通り終わることができました。次年度以降は、峠道の維持・管理、利活用に向けた取り組みを、地域の皆様とともに進めていきたいと思っております。

第2回地域づくり検討会を開催しました

- ◆日時◆ 平成28年12月6日(火) 13:30~15:00 東松振興センターにて開催
- ◆参加者◆ 東松峠を護る会、にしあいつ観光交流協会、東北芸術工科大学教員、田賀意匠事務所、会津坂下町、会津若松建設事務所 合計20名
- ◆話し合われたこと◆
 - ✦ 今年度の道普請の主旨と作業内容を確認し、御意見やご感想をお伺いしました。
 - ✦ 今後の東松峠での取り組みについて意見交換を行いました。



検討会での主な意見をご紹介します

道普請に関すること

- 洞門前広場に掘削した土側溝に、施工直後から水が集まってきた。来年の現地調査で、道の乾燥状態等を確認したい。
- 注意喚起のために洞門入口に打設した5本の丸太杭は、ウォーキング大会の時、杭より先に進む人が少なかったことから、バリケード的な役割を發揮していると感じた。
- 粗朶柵の補修は、人力で自然な素材を使って補修したことで周辺の環境と調和し、補修前より良い構造物に仕上がった。
- 峠の茶屋に向かう道に施工した山留落差工は、丸太の設置間隔や段差を考慮して施工し、安全に歩いて軽トラックも通行可能な道に仕上がった。
- 6年間道普請を継続したことで、景観も良くなり心地よく歩ける道になって良かった。
- 自分達の知らない工法を取り入れて施工し、思っていた以上に良い道になった。峠から先の軽沢に向かう箇所についても整備を進めても良いと思う。
- 峠から軽沢側にも下りていけることを示す看板を設置したり、丸太杭を打設して誘導するのも良いと思う。

洞門入口付近の様子



安定感が増した粗朶柵工



ウォーキング大会の様子



今後の東松峠の取り組みについて

- 今後、峠道の草刈は、西会津側と連絡を取り合って連携して実施したい。以前は草刈後に交流会も行っていたので、また企画したい。
- レクリエーションは人の生活にとって必要なものなので、東松峠を人が行きたくなるような(人にとって必要な)場にすることが今後の課題となる。環境に配慮した景観性の向上については、継続して検討を行ったほうがよい。
- 街道サミット等色々なイベントへの参加者が多く、旧街道を活かした取り組みについてのニーズはあると感じている。連携して、東松峠を越えて行き来するイベントを実施したい。

今年度で整備が必要な箇所の修繕工事は一通り終了しましたが、峠道を利活用するためには次年度以降も維持・管理を継続していく必要があります。来年度は、現地調査を実施し、その結果から補修する規模の大小や専門的な検討の必要性等を判断し、状況に応じた対策を講じていくこととなりました。倒木処理など補修規模が小さい場合は、東松峠を護る会のみなさんで作業をしていただき、大規模な崩落などで多くの資材や大勢の労力、新しい工法の検討等が必要な場合は、今年度までのように検討会を開催し、道普請を実施して対応したいと考えております。

今年度のスケジュール

今年度第3回目の検討会を平成29年2月中旬に開催し、越後街道(東松峠)を活用した地域づくりについて話し合いを行う予定です。多くの人にご参加をいただき、サイン計画等の検討も含めて越後街道の利活用の仕方について考えていきたいと思っております。検討会へのご参加を宜しくお願いいたします。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459